

■12/22(土)

ジャンボツリーを囲んで

「ジャンボツリーを飾ろう会」と、別狩子ども会主催の「クリスマスイベント」が、あつた中央クリニック前の広場で開催されました。当日は、地域の子どもを含め50人が参加し、ツリーの点灯カウントダウンやじゃんけん会などを実施。最後に地元のサンタから子どもたちへプレゼントが贈られ、楽しいひとときを過ごしていました。

Voice

じゃんけん大会に参加し頑張りましたが、負けて賞品をゲットできませんでした。でも、盛り上がって楽しかったです！（厚田小学校5年 吉田龍誠さん）



■12/22(土)

みんなで作った料理でクリスマスパーティー

食生活改善推進員の企画で、就学前のお子さんを対象にした親子料理教室が花川北コミセンで開かれました。15組の親子がデコレーションずし・すまし汁・いちごのカップケーキの3品に挑戦。卵が割れない子や、驚くほど包丁さばきが上手な子などさまざまでしたが、どの子も真剣で、試食会では自分たちが作った料理を口いっぱいに含み、満足そうな笑顔を見せっていました。

Topic

子どもたちがお母さんやお父さんの手を借りながらも率先して作ってくれました。これをきっかけに料理の楽しさを知ってほしいですね。（食生活改善推進協議会会長 清水祐美子さん）



■12/24(月・振)

友好都市青少年スポーツ交流

石川県輪島市のバレーボール少年団の小学生15人を含む総勢27人の皆さんが石狩市を訪れ、初めてスポーツによる交流を行いました。「バレーボール交流大会」では、輪島市2チームと石狩市5チームが熱戦を繰り広げたほか、みんなでチームを作てカローリングで交流するなど、子どもたちははじける笑顔で楽しそうにプレーしていました。

Voice

心に残る思い出のクリスマスになりました。「また会えるね」と約束したので、いつか輪島市を訪ねてみたいです。（花川南バレーボール少年団女子キャプテン 緑苑台小学校6年 原渕梨智さん）



■1/14(月・祝)

石狩市成人式

花川北コミセンで行われた市の成人式。今年成人を迎えたのは557人で、振袖姿のほか、男性の羽織や袴姿も多く見られました。石狩翔陽高校の太鼓局の演奏から始まった式典では、サーモンファイター・ルイベがエールを送ったり、地元の保育園や交番、中学校の恩師など多くの方がビデオでお祝いのメッセージを寄せました。新成人は久しぶりの同級生との再会を楽しみながらも、真剣な面持ちで式典にのぞんでいました。

Voice

今日は振袖を着てヘアセットすることが楽しみでした。今、看護学校に通っていて、将来は介護福祉士になり一社会人として市民の皆さんの役に立てるよう頑張ります。（谷美咲さん）





まちの主な出来事を写真で振り返ります。

まちの話題



■12/8(土)

厚田保育園親子もちつき大会

厚田保育園で、毎年恒例の「親子もちつき大会」が行われました。保育園でふかした厚田産のもち米をついたのは、もちろん園児たち。元気いっぱいについた後、雑煮やきな粉もちにして味わい、「つきたてのものはおいしいね!」と、笑顔いっぱいの1日となりました。

Voice 今年は初めての試みとして保育園でもちをふかすなど、例年とは違う苦労もありましたが、子どもたちの楽しそうな姿を見て良かったです。(あつた保育園父母と保育士の会 会長 小笠原 久美子さん)



■12/10(月)

浜益温泉のイルミネーション

浜益青年会有志が、昨年の浜益コミセン「きらり」前から場所を変え、浜益温泉をイルミネーションで飾り、華やかな光で温泉を訪れる人たちの目を楽しませました。浜益温泉は現在工事のため閉館中ですが、3月1日にリニューアルオープンを予定しています。

Voice 浜益青年会の皆さんとのコラボで、きれいなイルミネーションが飾られました。今はお休みですが、3月から地域の方と力を合わせ、盛り上げていきたいです。(浜益温泉 斎藤センター長)



■12/15(土)

浜益小学校もちつき大会

一段と冷え込む中、浜益小学校でもちつき大会が行われました。もち米は、春には泥んこになりながら田植えをし、夏は「かかし」を作り、秋にみんなで刈り取ったものです。臼ときねを使った昔ながらの方法でつき上げたものは、あんこやきな粉、雑煮にして楽しみました。

Voice いやあ、疲れましたよ。最近はもちを買ってくるばかりで、何年ぶりですかね。出来立てのものはおいしいですね!(鎌田友之さん)



■12/22(土)・23(日・祝)

昆虫パラタクソノミスト養成講座(初級)in石狩

北海道大学総合博物館が2004年から行うパラタクソノミスト講座が、初めて市民図書館で開かれました。パラタクソノミストとは、標本やサンプルを正しく同定・整理することができる「準分類学者」のことです。博物館や環境調査などで活躍する人です。今回、受講者は昆虫の分類について学び、実際に顕微鏡を使ってたくさんの昆虫をコウチュウ目やトビムシ目などのグループにより分け、標本作りを体験しました。

Voice 自然に強い関心があって参加しました。顕微鏡で行うグループ分けではダニが多くて大変でしたが、めったにできない経験もあり、2日間楽しく受講することができました。(石井滋朗さん)

